

循環型日本語教育支援システム

【プロジェクト会議】

- ・日本語教育の推進に向けて、基本方針を決定する。
- ・進捗状況を検証する。
- ▶**構成** 教育長・次長・参事・全課長・外国人児童生徒等在籍校代表校長
- (**連携** 早稲田大学大学院日本語教育研究科)

人的配置

【日本語教育担当者ネットワーク会議】

- ・プロジェクト会議で決定した方針を、各校へ伝える。
- ・日本語指導のための教材作成を行う。
- ・指導方法についての情報交換を行う。
- ・日本語指導に関わる研修を行う。
- ▶**構成** 主に国際教室設置校の日本語教育担当者

日本語教育
コーディネーター
指導主事の派遣

課題

実践

【学校】

- ▶**外国人児童生徒が在籍する全小中学校**
 - ・JSLバンドスケールによる、日本語能力の把握を行う。
 - ・バンドスケール判定会議において、指導や支援について検討する。
- ▶**国際教室設置校**
 - ・「国際教室運営会議」を開催する。
- ▶**日本語指導**
 - ・リライト教材等を活用しながら、教科につながる学習を行う。
 - ・小集団指導を積極的に導入し、こども達同士の学び合いをつくる。
- ▶**校内研修**
 - ・JSLバンドスケールの活用について
 - ・JSLカリキュラムを取り入れた授業づくりについて